



【夢日記：採録一覧】

期間	1978年夏季	目的らしきものごと	<1978年7月よりスタートする>=相変わらず、弁護士：正木ひろしの著作より影響を受けてマメに記載していた。
《注意事項》	～基本的に、ノートに記載された文章に沿って採録する。 若干の手直し(テニオハ、記載に関するミス修正)を行い、読みやすくするため原文加工した。 例えば、文中「ぼく」なる表現は《自分》に変更済み。		
日付	夢のあらすじ～概要		
8月13日 (土) 曜日	1) 愛川欽也が春川ますみを妊娠させ、非難を浴びながらも頑張るという設定のTV(?)ドラマの夢。 そのドラマがTVであるかどうか当初判定できずに居る。 2) 自分が多摩川のオジサンの家を訪問する。家において食事(野菜ばかりのメニュー)をしつつ、種々の会話をする。 オジサンはかなり今時の流行話をするので驚く。		
9月4日 (月) 曜日	絵画教室へ行く為、会社前からバスに乗る。会社(H貿易)の女性登場し、普段と全く違う話をする夢。[オリジナル付記] 所見～毎日、会社勤めが終了し、眠るときには会社の夢を見やすい。しかし、十分に休息をとり『例えば休日の後』過ごした日～会社のことは考えずに居られるので、会社の夢は殆ど見ない(休日の前の晩など顕著！)		
9月28日 (木) 曜日	SF的な夢：とある人工惑星が舞台／内情はロボットが抑圧者として人間の上に君臨している。 ある日、若者たちがついに立ち上がる。しかし、ロボットたちは先住民・移民である若者の両親を盾にして攻めてくる。 それを乗り越え、ロボット達をやっつける。最後は、惑星に亀裂が入り、りんごの皮を剥くが如くに少しずつ崩壊していく。 そのシーンは圧巻的で、メリーゴーランドを反対にしていこうような感覚があった。		
10月9日 (月) 曜日	自らロックバンドを編成し、大きな会場を中心にミュージシャンとして生きる。 その後、サンタナのメンバーとしてコンサート活動を行う。 担当はパーカッション(コンガ、ボンゴ&カウベル)		
10月23日 (月) 曜日	1) ロン・カーター(Bass)トニー・ウィリアムス(Drums, Keyboard)によるコンサート。 トニーはシンセサイザーを操り好評なコンサートを行う。 2) 父が種々の医療機関を移っていく。萩本欽一の高原ペンション(子供たちも一緒に居る)、一般病院、トイレに行くときに倒れ、顔中傷だらけになる。 [オリジナル参照：東京都のK病院に転院する前夜のゆめ]		
10月30日 (月) 曜日	自宅の前の大手企業社員寮にて夜半社員を集って、大宴会を開催するのが窓越しに見える。 但し、平日の晩であり社員の妻も一緒にやっているのを不思議に想う。目撃者は自分と母。 その晩、我が家では作った映画のサウンドトラックを録音しているが、一曲だけどうし		
10月31日 (火) 曜日	1) スリラーサスペンス劇的夢：バカンスのある日、避暑地の南海の島での出来事。 若い人たちの集団がパーティを終え、島に向かう。そこに悪人が登場し、その若者の中に居る女性を人質にとって監禁する。そこである男～会社(H貿易)の男の社員？ が一人ずつ救出に向かうが、その手法がなんとも陰惨であった。		